

平成31年度 農林水産省

有機農産物 安定供給体制 構築事業

オーガニックビジネス拡大支援事業

次代の
農と食を



つくる会

一般社団法人 次代の農と食をつくる会／works

多様なジャンルの「次代の農と食をつくる」意欲あふれる人たちが連携し、農業生産、食品流通、消費に関わる新たなかたちを創造し、分かち合い、世に提示し、実現することを目的とした団体です。

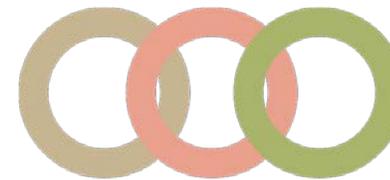


- ・流通マッチング
- ・受発注機能
- ・グループ出荷機能
- ・決済／発送支援
- ・登録生産者498件
- ・登録実需者271件



次代の農と食を語る会

キーパーソンを講師に迎えたトークライブ&パーティーを毎月開催。連動するオンラインサロン向けに映像配信、アーカイブもおこなう。



有機農業の日

- ・事務局運営
- ・広報
- ・関連イベント開催
- ・フォトコンテスト
キャンペーンの運営

その他の実績：農林水産省「オーガニック・エコ農産物安定供給体制構築全国事業」

2016-18年度 生産・実需情報共有・調整システム構築支援事業／消費者・実需者等理解増進活動支援事業

2016年度 新規参入・定着等促進支援事業

2019年度 オーガニックビジネス拡大支援事業（オーガニックプロデューサーを全国の「オーガニックビジネス実践拠点づくり事業」実施主体の協議会に派遣して、地域のオーガニックの成長と課題解決をサポート）

一般社団法人 次代の農と食をつくる会/member

千葉 康伸 代表理事 / NO-RA 農楽



土佐自然塾、山下農園で2年間研修したのち、神奈川県愛甲郡愛川町で有機農業を開始。「五感を研ぎ澄まして、畑で自分の感性に焼き付けること」という山下一穂氏からの教えを実践。ニンジン、ニンニク等野菜類を50品目程度栽培し、県内の生活協同組合、東京の契約スーパー、小田原市内や地元等のレストランその他へ販売。

有機農業を子供達の憧れの職業に！と願い、研修生の育成にも注力。また農場外でも有機農業参入促進協議会副代表、アグリイノベーション大学校専任講師、オーガニック・エコ農と食のネットワーク (NOAF) 設立発起人を務めるなど精力的に活動。

2018年6月より「一般社団法人 次代の農と食をつくる会」代表理事に就任。オーガニックや有機農業の枠をこえて、次代の持続可能で多様性のある豊かな社会を目指している。

西辻 一真 副代表理事 / 株式会社マイファーム

種藤 潤 副代表理事 / 一般社団法人オーガニックヴィレッジジャパン

小野 邦彦 理事 / 株式会社坂ノ途中

白土 卓志 理事 / 株式会社いかす

村山 邦彦 理事 / 伊賀ベジタブルファーム株式会社

高橋 勉 監事 / JONA(日本オーガニック & ナチュラルフーズ協会)

間宮俊賢 オフィス

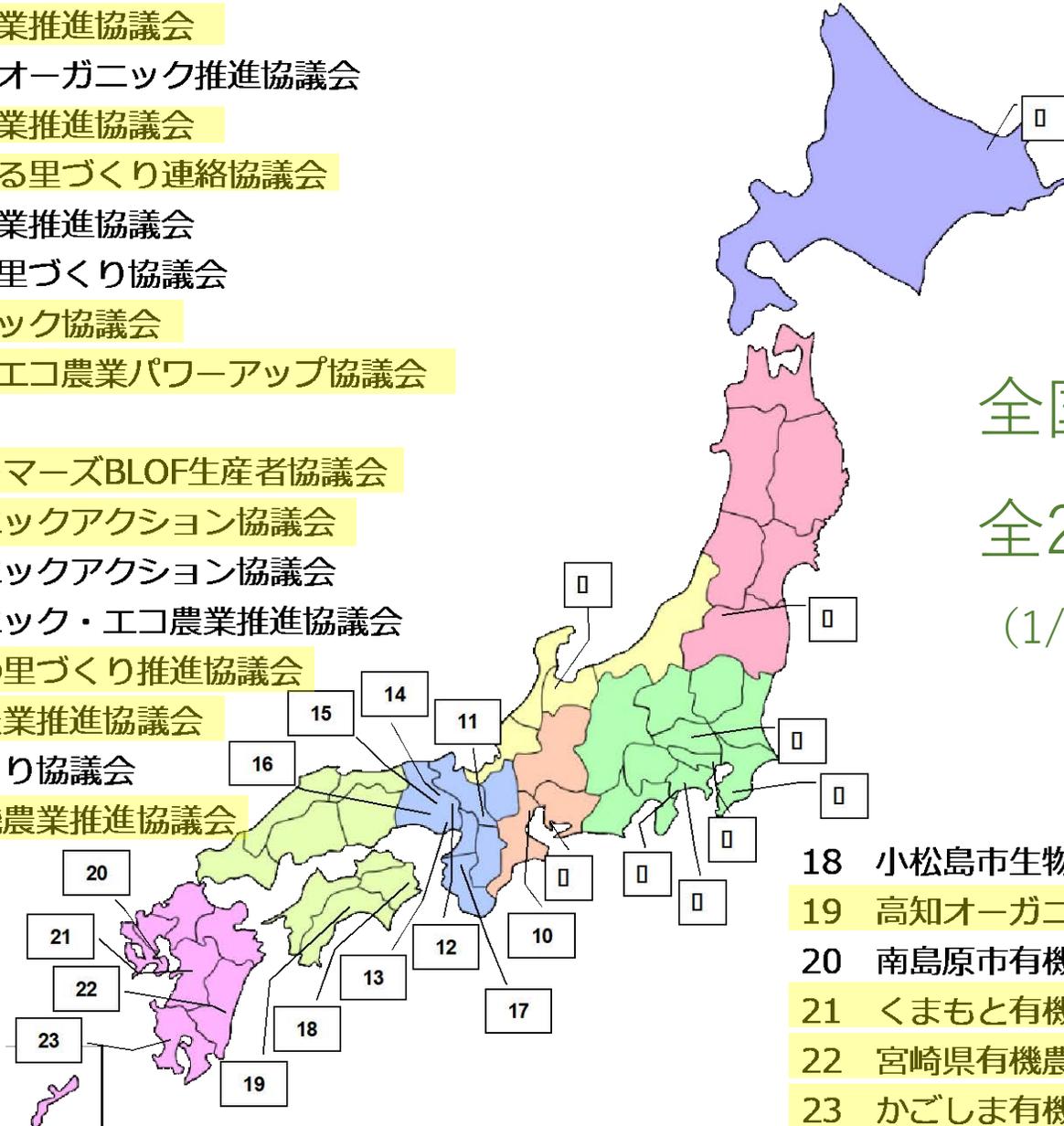


H31年度 有機農産物安定供給体制構築事業のうち オーガニックビジネス実践拠点づくり事業 実施予定地区

- 1 大空町有機農業推進協議会
- 2 会津ロジカルオーガニック推進協議会
- 3 小川町有機農業推進協議会
- 4 自然と共生する里づくり連絡協議会
- 5 千葉県有機農業推進協議会
- 6 小田原有機の里づくり協議会
- 7 湘南オーガニック協議会
- 8 とやま有機・エコ農業パワーアップ協議会
- 9 知多の恵み
- 10 ニューファーマーズBLOF生産者協議会
- 11 京都オーガニックアクション協議会
- 12 兵庫オーガニックアクション協議会
- 13 神戸オーガニック・エコ農業推進協議会
- 14 丹波市有機の里づくり推進協議会
- 15 多可町有機農業推進協議会
- 16 笠形地域づくり協議会
- 17 那賀地方有機農業推進協議会

追加：ともに山形県

- 24 南陽市有機農業推進協議会
- 25 かわにし有機農業推進協議会



全国16／25拠点中
全26回の派遣を実施
(1/31現在・予定を含む)

- 18 小松島市生物多様性農業推進協議会
- 19 高知オーガニック
- 20 南島原市有機農業推進協議会
- 21 くまもと有機農業推進協議会
- 22 宮崎県有機農業連絡協議会
- 23 かごしま有機農業推進協議会

プロデューサーによる支援事例①

派遣対象：小川町有機農業推進協議会

支援課題：オーガニックハーブの加工品開発と販路について

担当：新田美砂子（有限会社コートヤード／農産物プロデュース&フードデザイン）

1	栽培品目の選定について（飲食店などでニーズがあるが、栽培が少ない品目 レモンバーベナ）
2	乾燥ハーブ製造のOEM先について（乾燥方法の違いや品質、価格等、他社との比較検討も必要）
3	ミント等のハーブ類の花き市場での販売が拡大しているので、食用以外の販路をさらにリサーチ
4	地元のフルーツ（柿、ブドウ、ベリー等）をドライにして、ハーブ&フルーツティーに（地域連携）
5	地元の酒造会社と連携してハーブを使ったお酒を開発【例：ハーブ梅酒】（地域連携）
6	他のドライハーブティー生産者の商品を取り寄せて、比較検討する（外部環境の確認）
7	商品作りで100%地域内産で最初から作らなくても、少しずつ地域内産を上げる手法の紹介（沖縄の事例）
8	ハーブで町おこしを実施している佐賀県武雄市の例を紹介
9	コレド室町テラス内のハーブティー専門店を紹介
10	週末の農業体験ツアー（金曜日泊で土曜日に体験）で、フレッシュハーブを使ったワークショップ

プロデューサーによる支援事例②

派遣対象：京都オーガニックアクション協議会

支援課題：少量多品目の物流について

担当：加藤百合子（株式会社エムスクエア・ラボ／やさいバス）

1	（KOAの共同物流事業体立ち上げへ向けて）資金調達についてやさいバスの事例を紹介
2	地区の集配送に特化～将来的にやさいバス京都の業務を委託するパターンなども提案
3	やさいバスでは最近魚を扱っているのでそれを仕入れる可能性を模索する提案
4	やさいバス経由で静岡、長野の野菜を京都で仕入れる→KOAとしての安定供給対策
5	営業機能保持についてアドバイス（現時点では協議会としての営業機能は極めて弱い）
6	やさいバスのオペレーションを見学に行くなどして物流に関する学びを深める提案